大垣市室本町2-39
竹中ビル203号
TEL、FAX兼用
0584(75)1289

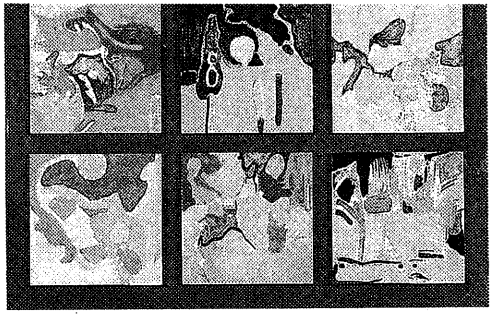
三重支社
津市栄町4-255
津栄町三交ビル3階
TEL059(228)2545
FAX059(271)6311

四日市支局
四日市市中浜田町4-16
ロイヤルマンションHAMADA208号
TEL059(354)6116
FAX059(329)5333

いう。同社のEV充電器は60万円から設置が可能であることをアピールし、普及を目指す。

同社のEV充電器はすでに100基以上の受注実績がある。全国での受注拡大のため、販売代理店や施工代理店の募集も行っている。

11月に名古屋市港区のポートメッセなごやで開催される異業種交流展示会「メッセナゴヤ2023」に出展し、課金機能付きEV充電器をPRする。


天賞作品「ツキがある」

日、地方公共団体に寄贈する。

TYK絵画大賞は1996年に創設。地元画家の創作活動の支援と地域文化の振興が目的で、岐阜県全域から絵画作品を一般公募している。本年度で28回目。

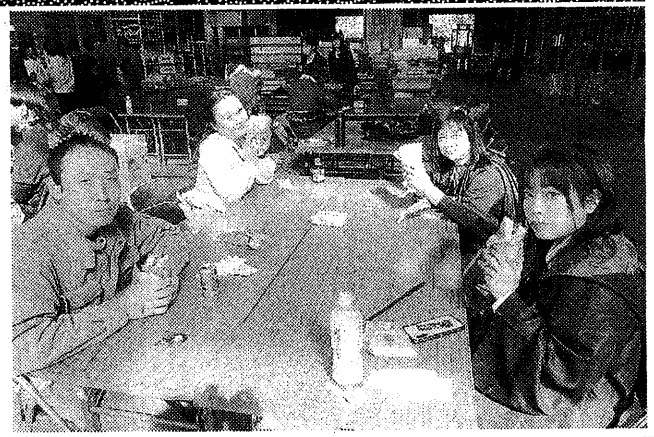
今回の応募総数は、一般の部が80点、サムホール（小型作品）の部が48点。選考の結果、一般の部はTYK絵画大賞1点、準大賞3点、佳作賞8点の合計12点を、サムホールの部は大賞1点、佳作賞5点の合計6点をそれぞれ入賞作品に選んだ。

同社では10～12日、多治見市東町のセラミックパークMINO国際会議場で「TYK絵画大賞・優秀絵画展」を開催する。入選作品を加えた入賞・入選合計128点を展示する予定。

社長はマリオ相談役は赤い悪魔

佐野テックがハロウィーンパーティー

【四日市】橋りょう部品の製造販売などを手掛ける佐野テック（本社三重県菰野町、佐野貴代社長）は31日、社内交流の一環で同社初のハロウィーンパーティーを本社で開催した。


多くの社員が仮装を楽しんだ

社員同士の親睦を深めるためのレクリエーション活動を企画・運営する社内組織「ATO（アトー）会」が発案。本社事務所などをハロウィーン仕様に装飾したほか、昼食時にはキッチンカーを呼びハンバーガーやクレープを振る舞った。一部の社員はアニメのキャラクターやお笑い芸人など思い思いの仮装をして業務に当たった。佐野社長はゲームキャラクターのマリオ、佐野明郎相談役は赤いデビル（悪魔）に扮（ふん）するなど、役員も仮装を楽しんだ。

佐野社長は「普段以上に社員同士のコミュニケーションが活発になった」と話し、佐野相談役は「笑顔のある職場は、働きやすい職場の一つの指標になる。社内の至る所で社員の笑い声を聞くことができた。大変素晴らしい企画だ」と評価した。

当日、本社で勤務する社員70人強のうち半数以上が仮装を楽しんだという。ATO会執行部の三田悠会長は「今後も社員一人一人が楽しめるイベントを企画していきたい」と話している。

「遊ぶ・楽しむ・面白い」の頭文字から名付けたATO会は2008年に発足。社員旅行やバーベキューなどさまざまなレクリエーションを実施している。ここ3年ほどは新型コロナの影響で活動を見送っていたが、今夏に歓送迎会を再開した。

技術で新システム

販売

山林で事故に遭った場合、林業従事者が携帯している子機のSOSボタンを

30日に「経営分析セミナーPR編」

可児会議所

【東濃】可児商工会議所は30日午後6時半から、可児市広見の可児市総合会館会議室で「経営分析セミナーPR編」を開催する。専門家が効果的なPR活動のノウハウを解説する。

メイン講師およびコーディネーターは中小企業診断士でコンサルティング・シスト代表の伊藤慎悟氏、ゲスト講師はPRコンサルタントの佐賀聖子氏。主な内容は、現在の企業経営におけるPR活動の事例と手法を知る、自社の商品やサービスの良さと特徴を振り返る、など。

対象はPR技術の向上に取り組みたい企業経営者。受講は無料。定員は20人。問い合わせは同会議所（電話0574・61・0011）まで。

4市町の観光地巡るスタンプラリー開始

伊勢志摩観光機構がきょう

伊勢志摩観光コンベンシ